

巻頭言

—人間文化学科特集号発刊の辞—

平成一五年四月一日、新学科として、本学人間文化学科は開設しました。本学の建学の精神は、第一次世界大戦後、女性に高い教養と技能を授けて、「世の光となる女性」を育成しようとした点にありました。二一世紀を迎えた現在、私たちが直面している問題はグローバル規模の極めて多様な問題の複合体であり、一専門分野の視点だけでは解決することが非常に難しいものと思われれます。問題解決に当たっては総合的な視野に立ち、多角的な視点から論理的かつ分析的に考え、適切に解決できる力が必要とされています。そこで、日本人としてのアイデンティティを堅持しつつ、広い視野から独自の文化や異なった文化を見つめなおして人間文化を広く学び、思考力を鍛え、多様な価値観を知って人間に対する深い理解を示し、自らの視点、自らの言葉で的確に表現する方法を身に付けさせるために人間文化学科は開設されました。

本学科には、自文化や異文化に対する深い理解を示し、総合的な視野に立って判断し、情操豊かで、人間関係における調整能力を身につけた女性を育てる人間文化コース、高度情報通信時代に即して、マルチメディアなどの技術を使いこなして、文化情報を収集・分析・処理し、独自の視点で付加価値がある情報・映像を創出できる女性を育てるメディア表現コース、確かな問題意識と思考力を持ち、自分を表現する手段としての日本語力と英語力を使いこなし、説得力のある発表能力を備えた女性を育てる言語コミュニケーションコース（平成一七年度ポストNELPコースに改名予定）の三コースがあります。

平成一七年三月八日、第一期生が卒業いたします。進学・就職とそれぞれ進路は異なりますが、在学中に得たものをいつまでも忘れずに、社会に貢献できる女性になることを期待しています。この人間文化学科特集号は、人間文化学科の先生方がそのような願いを込め、卒業を祝して執筆されました。在学生の方々も人間文化学科の和やかさを基調とする魅力をなお一層高めていただきたく思います。

ささやかなものですが、本特集を一つの拠点として、本学人間文化学科の研究・教育の活動がより一層活発になることを関係者一同期しております。大方の今後のご鞭撻・ご支援を心からお願い申し上げます。

（齋藤 彰）